

令和4年度第3回大阪府医療対策協議会 議事概要

日時：令和5年3月17日（金曜日）14時00分から16時00分

場所：ホテルプリムローズ大阪 鳳凰（東）

議題(1) 地域枠のキャリア形成プログラム（総合診療・感染症）について

【論点】

○地域枠のキャリア形成プログラム（総合診療コース・感染症コース）について、医師像のイメージに照らし、以下の病院を派遣先としてはどうか。

・総合診療コース

（専門研修3年間）総合診療専門研修の基幹施設に指定された医療機関における総合診療業務

（専門研修修了後）上記総合診療専門施設の基幹施設に指定された医療機関に加え、新家庭医療専門研修

の基幹施設に指定された医療機関又は病院総合診療専門研修の基幹施設における総合診療業務

・感染症コース

（専門研修4年間）総合診療と内科専門研修のダブルボードが可能な基幹施設に指定された医療機関における

総合診療及び内科における診療業務

（専門研修修了後）感染症学会認定病院及び第二種感染症指定医療機関における感染症診療業務

【意見概要】

○大阪府がモデルとなるコースを作成してはどうか。

【結論】

○概ね了承。対象医療機関等からのヒアリングや協議を行い、コースについて適宜見直しを行う。

議題(2) 初期臨床研修について

【論点】

○OR6年度から研修を開始する研修医の府内病院の募集定員上限637枠について、以下のとおり配分することとしてはどうか。

最終配分調整による定員増を希望する病院数：67病院

⇒提出されたプログラム調査票を点数化（11点満点）し、以下の（1）～（2）の順で65枠を配分

（1）8点以上の上位21病院に2枠ずつ配分 ※うち1病院については1枠のみ希望

（2）5点～7点の24病院に1枠ずつ配分

【意見概要】

○特に意見なし。

【結論】

○府案のとおり進める。

議題(3) 専門研修について

【論点】

○令和6年度研修開始分以降の医師の専門研修の在り方について、日本専門医機構への要望書（素案）を作成したのでご意見をいただきたい。

主な項目案：シーリング制度の見直しについて、特別地域連携枠について、地域枠医師等の義務要件への配慮について、令和6年度の専門研修に係る採用スケジュール等について

【意見概要】

○現在のシーリング制度は、医師の偏在解消に効果的であるとは言えないということを追記してはどうか。

○大阪府から国に対して、大阪府の現状を踏まえて、将来大変な問題を残す旨、何度も繰り返して伝えていくべき。

【結論】

○府作成の要望書（素案）について、概ね了承。上記意見を踏まえ、要望書の記載内容を見直したうえで、厚労省と日本専門医機構に要望書を提出する。